

焼き杉

[所要時間 約1～2時間]

…活動を行うにあたって…

杉板を焼くことで炎による材質の変化を学べます。さらに、焼いた板を磨くことによって材質のぬくもりを味わい、ペイントを加えることでオリジナリティーあふれる作品をつくることができます。

【活動の進め方】

手順説明
(センター職員)

- ・つくり方の説明
- ・安全面での諸注意



焼く

- ・杉板をガスバーナーでまんべんなく焦げ目がつくように焼く
- ※ガスバーナーを傾けすぎると、火が消えたり、大きくなりすぎたりするので危険
- ※必ず軍手をする



磨く

- ・表面の焦げ目をタワシで落とす
- ・ツヤが出るまで新聞紙で磨く



色付け

【必要に応じて】

- ・社会教育総合センターの焼印をすることができます
- ・アルスカラー（塗料）で絵や色を付ける



金具つけ

- ・金具をねじ込み、目玉を木工用ボンドで固定し、最後にひもをつける



できあがり！！



終了

- ・活動場所の清掃
- ・用具の回収、返却
- ・終了の報告



【活動場所】

あじさい広場、たけのこ広場

【準備する物】

利用団体	[売店にて購入]杉板セット（イルカ・リス・ウサギ）・ゴミ袋 【必要に応じて】アルスカラー（塗料）
	軍手・ガスボンベ・新聞紙・木工用ボンド・ライター
センター	ガスバーナーのノズル・タワシ・耐火レンガ・ラジオペンチ・はさみ・きり

【活動上の留意点】

- ・杉板セットは、イルカ、リス、ウサギの3種類からお選びください。
- ・軍手をはめて行き、火傷や道具によるけがに注意してください。
- ・作業する時は周囲を整理整頓し、周囲のものに燃え移らないようにしてください。